



11月、秋、イベントシーズン。 安心安全への配慮と、楽しみを。

■各地でイベント開催

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、市内では多くの行事が開催されています。コロナ前の雰囲気が少しずつ戻ってきたように感じています。

行政関係の式典、運動会を始めとした保育園や学校行事、地域での行事、市内外の多くの人に参加するイベントなど、私も時間の許す限り参加しました。主催者の皆さんの開催への思いや、これまでのご苦勞、課題意識など多くのご意見を聞かせていただき、参加者皆さんのたくさんの笑顔に触れることができました。久しぶりのイベント開催。週末の晴天日が多かったこともあり、多くの人で各会場が賑わっていました。

2年間行事が開催できなかったことで運営に必要なノウハウが忘れられてしまい、準備や開催に多くの時間がかかってしまったこと。コロナ対策を行いながらの開催には例年以上の経費が負担となってしまう

ること。主催者の方とお話すると、現場の大変さを感じることも多くありました。

コロナが終わらない中での“イベント”開催については、様々な判断、そして周辺からの意見があると思います。それぞれのイベントには開催の意義があり、主催者の思いが込められています。開催方法や協力者の確保、必要な予算など多くの課題を乗り越えて、一つ一つ開催されているということも多くの人に知っていただきたいと思います。かつては、それぞれの地域に大小様々な“まつり”がありました。大切なこと



はイベントに“どれだけの人が訪れたか”“いくら経済効果があったのか”という視点のみでの評価ではなく、思いを共にした人々が、自ら汗をかき、地域や社会を今よりも良くしていこうという思いで行動していること。そして、その思いがたった一人でも周りの人に伝播されていることだと思えます。

まだまだイベントシーズンは続きます。地域や市内でのイベントにご参加いただき、それぞれの行事やイベントに込められた人々の思いや価値観に触れてみてはいかがでしょうか。



■心から哀悼の意を表します

韓国、ソウルの梨泰院にて日本人を含む多くの方々が亡くなられる大変痛ましい事故が起こりました。犠牲になられた方々、御遺族に対して心から哀悼の意を表します。美濃加茂市でも恒例となっているハロウィンのイベント。私も若い頃には人混みで楽しんだことを覚えています。多くの若い人の未来ある尊い命が失われてしまったことに深い悲しみを覚えています。

このような事故は決して他人事ではありません。美濃加茂市でも多くの人々が参加できる賑やかな大規模イベントを開催したい、という思いがある一方で、人が多く集まる場所には大きなリスクが伴い、安全対

策が必要です。花火大会のある“おん祭 MINOKAMO 夏の陣”においても、堤防から河川敷への移動経路は急な坂道となっており、花火大会の際には多くの警備員・スタッフの協力で事故を防いでいます。過去には国内でも兵庫県明石市で悲しい事故が起きました。今回のような事故が二度と起きないように、イベントに制限をかけることだけを考えるのではなく、でき得るハード、ソフトの両面からの対応を考えていきます。

■市外、県外への視察

観光客の往来が戻ってきた10月、これまで控えていた先進地への視察を積極的に行っています。



“ひとづくり”の先進事業について、石川県加賀市、金沢市へと伺い、子供や若者たちがデジタルや先端技術に触れられる環境や専門スタッフから学べる学習教室を視察。“まちづくり”の先進事業について、大分市、愛知県岡崎市へ中心市街地活性化や公園整備の視察。日帰りの現地視察ばかりで、ゆっくり過ごす時間はありませんでしたが、市役所職員と現地を自分達目で確認し、担当者と意見交換をすることで多く



のことを学ぶことができました。

来年度に向けての予算編成が進んでいます。先行した取り組みに挑戦している地域の成功例や、時に失敗例を参考にしながら、美濃加茂市に必要なアイデアの実現や事業展開に力を入れていきます。参考になるような地域の事例については、市民の皆さんとも共有していきたいです。

■政府や県に対する要望活動

市の予算編成と同時に、政府や県も、この時期に新年度の事業や予算を具体的に作り上げ、準備に入ります。特に大きなプロジェクトとして、美濃加茂市長は、“新丸山ダム建設促進期成同盟会”、“東海環状自動車道中東濃地域協議会”の会長を務めています。その他にも、多くの自治体が協力して要望しているプロジェクトの大切な役割をいただいています。着実に進めなければならないインフラ整備に対して、現場の声を代表して国会議員や政府に地元の実情や切なる願いを伝えるに行っています。



■参加者募集しています！

前回は台風の前報で中止になってしまった“清掃活動”。10月は秋晴れのもと、西町周辺で行うことができました。12年前に始めた清掃活動ですが、顔ぶれは少しずつ変わりながらも多くの皆さんに支えられ、世代を超えてご参加いただき、今月も開催の予定を立てることができています。



今月は11月26日（土）8時からの開催です。一緒に活動して下さる方、募集しています。目の前に落ちている一つ一つの課題から目を背けることなく、拾い上げる意識と行動力が大切だと考えています。

藤井浩人



Vol.10

2021年11月号

藤井浩人 月刊マガジン

text and photographs by Hiroto Fujii

連載を再開。ブログを本に!

衆議院議員選挙期間中は中断していた私のブログ“前科者と呼ばれても、政治家として闘うワケ-私は誰に嵌められたのか-”を再開しました。

これまでに75話を公開し、“一審無罪”の時の様子を記しました。

「このブログを出版して、多くの世代の人に読んでもらったら？」

そんな声をいただき、現在、クラウドファンディングにて、出版を目指して賛同して下さる方を募っています。

事件から7年が経過しました。私にとっては思い出したくないような辛い経験でしたが、この事件を風化させてはいけないと考えています。

このような事件を生み出してしまう社会を変え、同じような冤罪事件が2度と起こらないように、社会課題と向き合っていきたいと思います。

ご支援、また一人でも多くの方に伝えていただきますよう、宜しくお願いします。



藤井浩人